



平成27年3月5日

報道関係各位

保育園給食の放射性物質調査

余寒の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、この度、松本大学では放射能測定装置を導入いたしました。人間健康学部健康栄養学科・杉山ゼミが、松本市立保育園で提供される給食の放射性物質調査を進めています。この活動は大学COC事業の一環として、松本市、NPO 日本チェルノブイリ連帯基金との連携に基づくもので、松本市内では初となります。

大学COC事業は地域社会の発展や振興をはかるための、教育・研究そして地域貢献を推し進めている大学を財政支援する目的で、文部科学省が平成25年度から始めた事業で、本学は平成25年に採択されました。放射性物質調査はこの事業の趣旨に基づくもので、地域住民の食の安全と安心を確保推進のための一端とすることを目的としています。

福島第一原子力発電所の事故発生当初に比べて、幸い、環境や食品の放射能汚染は一応の収束を見せていますが、この類の課題への対応は一過性に終わらせるものではないといえます。特に、乳幼児は放射線の影響を受けやすいことから、保護者は給食に対する放射能汚染には未だに敏感でいます。例えば、検出しないということについても、測定を行った科学的データの信頼度は高く、安心感も大きいようです。

住民の皆さんが放射線や放射能について、正しく理解して、正しく恐がる姿勢を身につけていただくような地域活動を心がけていきます。

つきましては、福島原発事故の発生からこの3月で4年を迎えるこの時期、ご多忙のところ誠に恐縮ですが取材をよろしくお願いいたします。

敬具

以上

■本件に関するお問合せ先

松本大学 杉山研究室 TEL 0263-48-7200 (代表) 携帯 080-3494-8019

メール hideo.sugiyama@matsu.ac.jp